



株式会社 CAC Holdings

証券コード：4725

CAC通信

2021.1.1～2021.12.31

テクノロジーとアイデアで
社会にポジティブなインパクトを
与え続ける企業グループへ
CAC Vision 2030

Let's make an **Impact.**

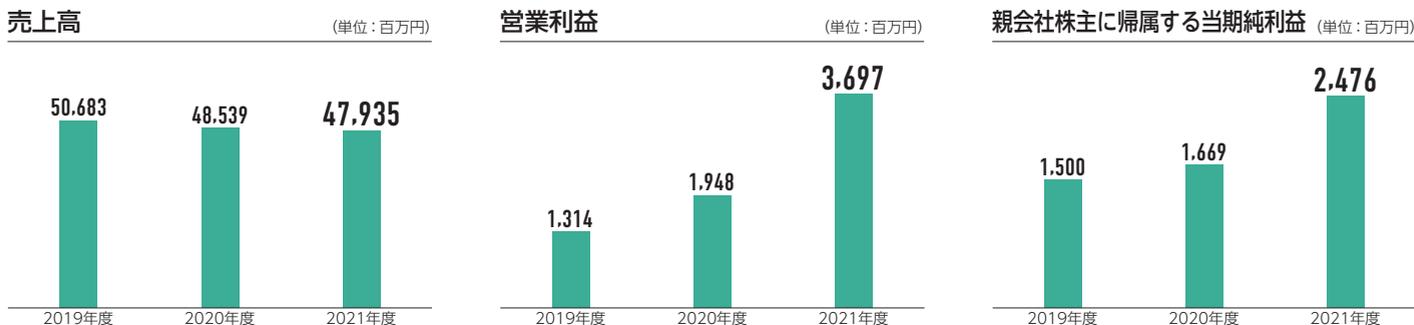


連結業績概況

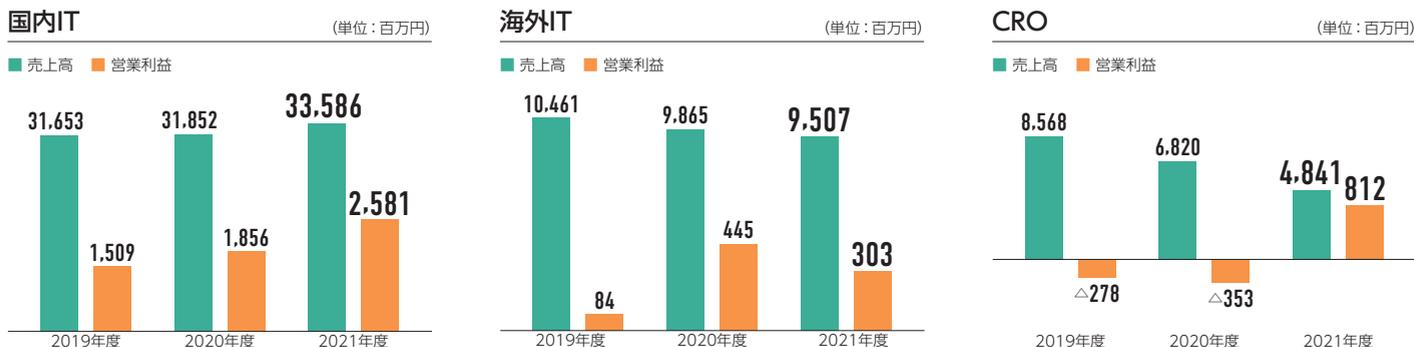
ハイライト

- 国内IT事業は連結除外（1社）の影響があったものの、大型案件の獲得や新規顧客の拡大等により、増収増益
- 海外IT事業は、インドネシア子会社を中心に伸長したものの、インド子会社不振のため、減収減益
- 経営資源をIT事業に集中させるため、CRO事業会社を譲渡。2021年下期より連結除外となる

業績ハイライト



セグメント別売上高／営業利益



2022年度 通期業績予想

概要



国内IT事業は前期同様、
堅調な推移を予想



海外IT事業はインド子会社の
利益回復を目指す



中期経営計画に基づく
投資を実施予定



CRO事業子会社売却により、
CROセグメント消滅

上記に伴い、2022年度より報告セグメントの区分を
国内IT、海外ITの2セグメントに変更します。

業績予想

(単位:百万円)

	2021年度実績	2022年度予想	増減率 (%)
売上高	47,935	45,000	▲6.1%
国内IT	33,586	34,000	+1.2%
海外IT	9,507	11,000	+15.7%
CRO	4,841	—	—
営業利益	3,697	3,000	▲18.9%
国内IT	2,581	2,400	▲7.0%
海外IT	303	600	+97.8%
CRO	812	—	—
経常利益	3,668	2,900	▲20.9%
当期純利益*	2,476	2,000	▲19.2%

*当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益



決算説明動画を配信中

2021年度の決算および、2022年度の通期業績予想、また2022年度以降の
Visionや計画について社長の西森が説明していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.cac-holdings.com/ir/shiryo.html>



株主の皆さまへ

～代表取締役社長からのメッセージ～



中期経営計画(2022年度～2025年度)を遂行し、CAC Vision 2030の実現を目指します

2021年度で終わりを迎えた中期経営戦略(2018年度～2021年度)は、定性面・定量面とも、成果と課題が入り混じる結果となりました。定性面では、国内IT事業の収益力が回復した一方で、海外IT事業(インド)の収益力回復は道半ばとなり、また、IT事業に集中するためCRO事業会社を売却する等の選択と集中を図ることができましたが、新規事業の創出は想定通りに進めることができませんでした。定量面では売上高は当初目標の700億円に未達であったものの、営業利益は当初目標の40億円に近づく形で終え、ROEは当初目標の8%を達成しました。しかしながら、様々な経営環境の変化や再検討等に伴い、度重なる目標数値の変更を行ったことは反省すべき点と認識しています。

2022年、当社グループは、変化が激しく数年後の予測すら難しい状況の中でも短期的な変動に左右されず、持続的な成長を実現させていくために、約10年後である2030年におけるCACグループのあるべき姿として、CAC Vision 2030「**テクノロジーとアイデアで、社会にポジティブなインパクトを与え続ける企業グループへ**」を策定しました。CAC Vision 2030では、CACグループにおけるAIやIoT等のデジタル技術やデータを活用したソリューションにより、人ならではの多様な想像力や創造力を発揮させ、社会課題の解決につなげていくことを想定しています。このような

ポジティブインパクトを与えるデジタルソリューションをいくつも生み出し成長させることで、高収益・高成長の企業グループとなることを目指していくものです。

今般策定した中期経営計画(2022年度～2025年度)は、CAC Vision 2030実現に向けた前半(フェーズ1)として、安定した収益の獲得と、後半(フェーズ2:2026年度～2030年度)を見据え継続的に新規プロダクト&サービスを生み出す仕組みの構築期間と位置付けています。既存受託事業の収益力強化とデジタルプロダクト&サービス創造のための準備として、3つの戦略(成長戦略、高収益化戦略、コーポレート機能の見直し・発展)に取り組みます。これらを通し、2025年度は売上高580億円、営業利益50億円、営業利益率8%以上、ROE10%以上を目指します。

→詳しくは右面を参照してください。

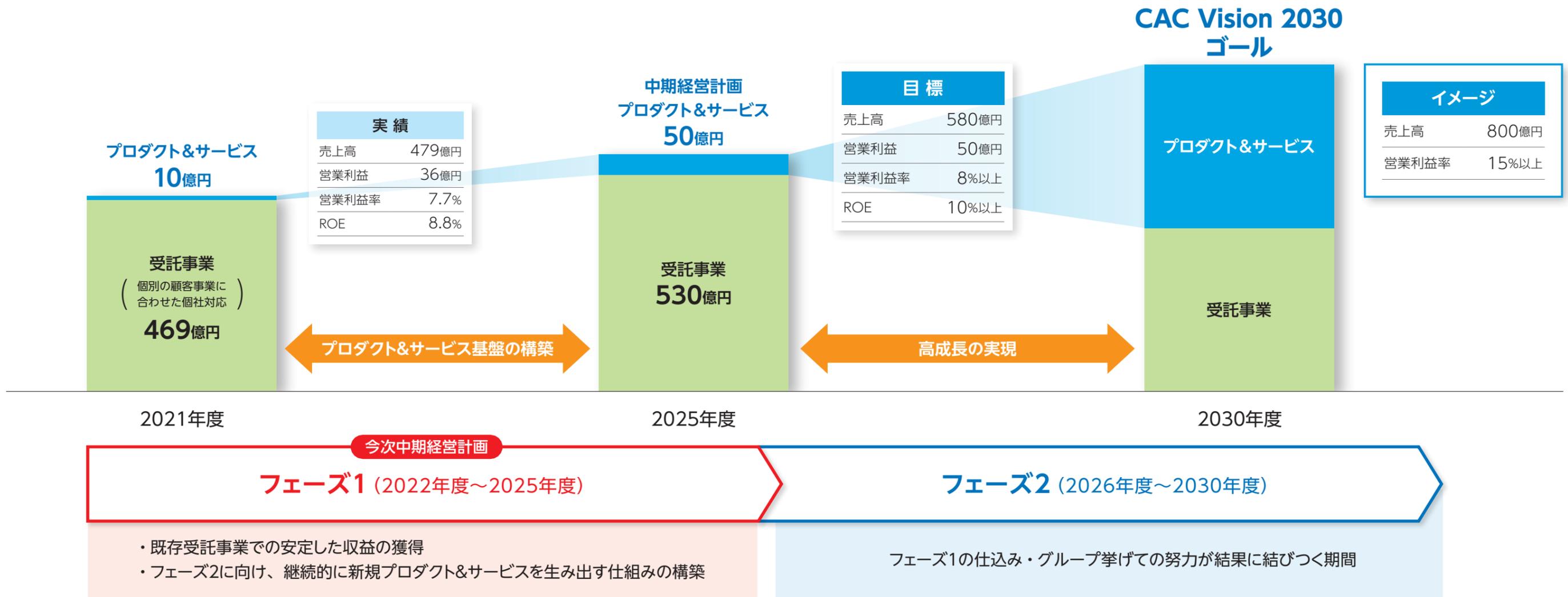
フェーズ1での取り組みが結果に結びつくフェーズ2、その最終年度となる2030年度は売上高800億円、営業利益120億円、営業利益率15%以上の企業グループとなることを目指して、CACグループ一丸となって取り組んでいきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援をお願いします。

西森良太

高収益・高成長の「デジタルソリューション^(※)提供企業」に生まれ変わります

※顧客課題を先導解決するデジタルプロダクトとサービス(コンサル、サポート)のコンビネーション

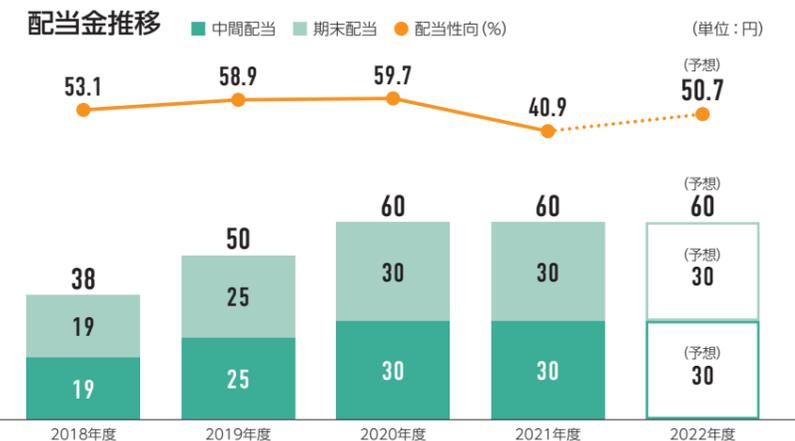


中期経営計画骨子 (2022年度~2025年度: フェーズ1)

成長戦略	<p>【プロダクト&サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規事業を継続的に立ち上げる仕組み・ビジネス基盤の構築 様々なステークホルダーと「共創」し、AIやIoTの活用で人を察し、人を活かし、人を健やかにするシステムコンセプト「Human Centered Technology」に基づくソリューションを開発 事業投資、人材投資の推進(約150億円) <p>【既存受託事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部資源の拡充を図りながら成長させることで収益基盤の礎とする
高収益化戦略	<ul style="list-style-type: none"> 不採算事業の整理と経営効率化により約10億円の改善
コーポレート機能の見直し・発展	<ul style="list-style-type: none"> グループガバナンス体制や運用方法を見直し、新規事業の推進を後押しする仕組みを構築 社員自らが考え動きやすい組織風土を醸成するための風土改革

株主還元について

当社は配当性向に留意した安定的な配当の継続を基本方針としています。2021年度の期末配当は1株当たり30円とし、年間配当は60円となりました。また、2022年度も年間配当60円(中間配当30円、期末配当30円)を予定しています。



社会にポジティブなインパクトを AIで日常生活をより快適に：ジェスチャーで機器や装置をコントロール

株式会社シーエーシーは株式会社日建設計総合研究所 (NSRI)と共同で、人の動作をAIが感知して機器や装置を制御する「UT-AIZ™(ユーティアーイズ)※1」を開発しました。CACの「Human Centered Technology®」という、「人を察し、人を活かし、人を健やかにするIT活用」をコンセプトとしたデジタル技術のもとで開発された「UT-AIZ™」は、人の身体動作(身振りや手ぶり、目や口の動きなど)を認識し、IoT機器や装置の駆動につなげるジェスチャーコントロールエンジン※2です。

また、両社はドアの販売を手掛けるゴールドマン株式会社と共に、ゴールドマンの開き戸用自動開閉装置「アシスト・スイング®」に「UT-AIZ™」を搭載した「アシスト・スイングUT-AIZ」のコンセプトモデルを開発しました。これは障害のある方や要介護者、荷物で両手が塞がっている方などのジェスチャーを「UT-AIZ™」が読み取り、ドアが自動で開閉し、快適な通行を可能にするものです。さらにセキュリティ機能を確保する顔認証技術の併用により、カードキーやスマホ等を



「アシスト・スイング
UT-AIZ」のイメージ
©NIKKEN SEKKEI LTD

用いることなく安全かつ非接触での入室を実現します。昨年12月、「アシスト・スイングUT-AIZ」を出展したスマートビルディングEXPOの来場者からは多くの関心が寄せられました。

「UT-AIZ™」は「アシスト・スイングUT-AIZ」のようなドアの開閉だけでなく、要介護者の見守りや日常トラブルの兆候検知、街の防犯対策など様々なシーンで活用でき、日常生活の安心安全にも貢献します。

※1：「UT-AIZ」はNSRIとCACの登録商標(共同出願中)

※2：NSRIとCACで特許出願済

会社情報・株式の状況

会社概要 (2021年12月31日現在)

商号	株式会社CAC Holdings
英文社名	CAC Holdings Corporation
本社	東京都中央区日本橋箱崎町24番1号 TEL.03-6667-8001(代表)
設立	1966年8月8日
資本金	37億2百万円
従業員数	29名(グループ従業員数 4,249名)

役員 (2022年3月29日現在)

代表取締役会長	酒 匂 明 彦
代表取締役社長	西 森 良 太
専務取締役	清 水 東 吾
社外取締役	森 時 彦
社外取締役	松 尾 美 香
社外取締役	大 槻 友 紀
監査役	吉 田 昌 亮
監査役	川 真 田 一 幾
社外監査役	本 多 広 和
社外監査役	石 野 雄 一

株式の状況 (2021年12月31日現在)

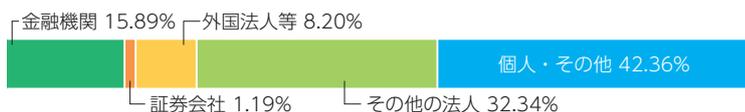
発行可能株式総数	86,284,000株
発行済株式の総数	20,541,400株
総株主の議決権の数	168,731個
株主数	5,541名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	所有株式数の 割合(%)
株式会社小小学館	3,102	18.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,552	9.19
株式会社SHIFT	1,027	6.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	677	4.01
CAC社員持株会	571	3.38

※ 2021年12月31日現在、自己株式3,656千株を保有していますが、上記株主からは除外しています。所有株式数の割合は自己株式を除外して算出しています。

所有者別分布状況



※ 自己株式は「個人・その他」に含めて記載しております。

株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月下旬開催
期末配当基準日	12月31日(中間配当金の支払いを行うときは6月30日)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(https://www.cac-holdings.com/) ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部